

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS No.805 2018 12

■ 巻頭企画

あなたの会社も活用できる助成金と補助金！

—— 経営基盤強化委員会/SME Support (東京新宿) 金子一美

11.9-10 ジャグラ全国協議会を開催

—— テーブルディスカッションが好評！

■ 連載

ジャグラコンテスト第4回 第1次審査課題解説⑤【最終回】

—— InDesign問題3：名刺の制作

需要創出を考える⑫

『子どものお絵かきをアートに♪』

—— (株)イデアル 「ひよこアート部」(大阪府支部)

■ NEWSとお知らせ

ジャグラ刊 個人情報保護ガイドブック第6版 業界の動き

- サンライズ出版(株)が京都新聞大賞/文化学術賞を受賞
- 11.22 東北地協幹事会を開催
- 第18回印刷産業環境優良工場表彰第一次審査募集中



ジャグラ HP にて
本誌 PDF 版を公開中。
PDF 版は紙媒体より約1週間
早い毎月中旬頃に
ご覧いただけます。



なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。会長の中村耀です。

先月の話ですが、全日本印刷工業組合連合会、全日本製本工業組合連合会、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会とジャグラの4団体の懇談会が開かれました。この席で製本組合が出稿した業界の窮状を訴える広告が話題に上りました。この声明は、取引慣行の改善と適正な取引条件の配慮を印刷業界に願うものでした。

製本組合さんの訴えるところは、非常に理解できる点ではありますが、印刷産業全体として、今大変な時期にあります。印刷業は印刷業なりに自社の経費をかけて仕事を取ってきています。それでも印刷単価の下落や仕事の減少が進んでいます。この問題は製本業界に限らず、印刷関連業界全体の問題として、皆で取り組んでいかなければならないのだと思います。

来年1月1日より印刷・情報用紙が値上げされ、10月には消費税増税も控えています。適正利潤の確保を実現するためにも値上げ分を転嫁し、印刷、製本業界から関連業界まで幅広く、健全な関係で成長する産業へと変えていかなければなりません。こうした時こそ組織力が試されます。“強いジャグラ”が印刷関連産業を牽引していく存在となれるよう、より一層のお力添えを頂ければと思います。

C・O・N・T・E・N・T・S

● 巻頭言

01 記憶に残るサプライズ

—— ジャグラ副会長/株興栄社(東京城東) 菅野 潔

● 巻頭企画

02 あなたの会社も活用できる 助成金と補助金!

—— 経営基盤強化委員会/SME Support(東京新宿) 金子一美

05 11.9-10

ジャグラ全国協議会を開催

—— テーブルディスカッションが好評!

—— 感想・テーブルディスカッションに参加して(東北地協幹事会議事録より)

11 11.9 理事会を開催

—— (株)ショーワ様の寄付金は災害見舞いに役立てることを決定

● 連載

22 ジャグラコンテスト第4回 第1次審査課題解説⑤【最終回】

—— InDesign問題3:名刺の制作

24 需要創出を考える⑫

『子どものお絵かきをアートに♪』

—— (株)イデアル「ひよこアート部」(大阪府支部)

● NEWSとお知らせ

13 ジャグラ刊 個人情報保護ガイドブック第6版

—— ジャグラ会員へは1部無料で送付予定です

26 業界の動き

サンライズ出版(株)が京都新聞大賞/文化学術賞を受賞

11.22 東北地協幹事会を開催

第18回印刷産業環境優良工場表彰第一次審査募集中

29 ジャグラBB HOTNEWS

17 法親会のご案内

19 コラム

19 書籍案内

28 事務局日誌と今後のスケジュール

記憶に残るサプライズ

ジャグラ副会長/株興栄社(東京城東)

菅野 潔



小学生の頃、隣に東大を目指して入れていなかった優秀なお兄さんが居ました。私の友達にも声を掛け、近所の空き地に全員がすっぽりと入れる大きな穴を一緒に掘りました。しばらくするとそのお兄さんは梯子を上り穴から出て、梯子を担いで帰ってしまいました。穴から出られなくなった私たちは、状況がよく分からないまま穴の中でしばらく脱出方法を色々試みましたが、優秀なお兄さんの掘った穴からは自力では脱出できず、日暮れに再び梯子を持って来てくれて、ようやく巨大な穴から出ることができました。その時一言だけ聞いた言葉は、「夕飯を食べに家に帰ってた!」でした。

いまだに意味の分からない事ではありますが、50年近い昔の記憶のうちで、忘れられない出来事でした。そんなことがあってからか、私は穴を掘るのが好きになり、度々自宅の門の近くに落とし穴を掘り、同時に両親は謝る機会が増えてしまったようでした。

そんな私も一人前に結婚をし、娘が生まれ、その娘が4歳の頃、当時高校で物理を教えていた私に、「ブランコってなんで動くの?」と聞いてきました。物理の理論で説明をすれば早いものの、4歳の娘にそんな話をしても分かるわけがありません。それから、分かりやすい自然現象の説明の仕方を沢山考えましたが、どれもこれも面白くもなく、いつしか娘も大きくなりその答えを出さないまま、ときどき答えを出していない後悔を感じつつ月日が過ぎてしまいました。

それから20年程が過ぎ娘が結婚することになりました。その時ふと思ったのは、この節目に何かサプライズをしよう。結婚式場に落とし穴を掘るわけにもいかないので、お嫁に行く娘に、4歳の頃からの宿題を絵本

の形で贈ろうと考えました。物理の説明とはかけ離れた、4歳の子どもに読み聞かせられる文章を自分で書き、その文章からイラストレーターに絵を描いてもらいました。そしてブランコが何故動くのかを「ブランコがだいすき」というタイトルで自作の絵本が仕上がりました。

娘には「結婚式の当日、スライドを映写し司会にその内容を話してもらいたいから、お願いしておいて」と頼んでおきました。家族の誰にも伝えないで進めたサプライズ企画。式当日の娘の状況が目には浮かびました。必ず娘は泣くよな! しかし、私自身にもサプライズの感動がこみ上げてしまうのは明らかでした。どうしよう!!

そして式当日、いよいよ絵本の朗読とスライド上映の時間がきました。「新婦のお父さんからの贈り物で、4歳の頃に問われた事を、今日この日に答えてくれるサプライズ企画です。」と司会からのアナウンスが入り、ついに始まりました。娘には絵本が渡され、予想通りその瞬間から娘は大泣きでした。司会が文章を読みスライドが上映され、20年に渡る娘への私の宿題が終わりました。私はというと、時たま大泣き状態の娘を見るだけで、気持ちを安定させるために常微分方程式を解いておりました。涙を流さなかった新婦の父親への批判はかなりあったものの、自作の絵本を通して4歳の時に娘からももらった宿題に答えられた達成感と現物として残っている絵本は、私達の一生の思い出になっています。

50年前に掘った穴を埋めた記憶は無いので、きっと優秀なお兄さんが日が暮れてから一人で埋めたのではないのでしょうか。その穴は存在しませんが、このことも重大な記憶として一生忘れることは無いようです。

ジャグラで活動をはじめ27年。その間様々なサプライズがありました。東京駅までお送りした先輩に、有難うと言われほっぺたをペロペロされたこと。「こんにちはは二郎さん」と言ったら、「ばかやろう、俺は三郎だ」と一郎さんに笑いながら怒られたこと。さらにジャグラは楽しい企画をする集まりだと勘違いして、全国大会で野外親睦会ばかりしていたこと。本当に記憶に残るサプライズが、先輩・後輩とともに沢山作れる業界であり続けられることをこれからも期待しています。



あなたの会社も活用できる 助成金と補助金！

ジャグラー経営基盤強化委員会

SME Support(東京新宿) 金子一美



日本全国には6000件以上の補助金助成金があります。その中から自社に最適な補助金助成金を見つけて活用することで、経営の大きなサポートとなります。今期からスタートした経営基盤強化委員会(担当役員:岡澤誠副会長、委員長:中村盟理事)は、経営対策事業、業界環境への対応、会員企業への経営情報提供、年賀状デザインコンテスト事業などを推進しますが、本号ではその事業の一環として、ジャグラー会員が取得・活用できる補助金助成金の探し方や補助金の基礎知識をご紹介します。

助成金と補助金の違い

基本的なことですが、まずは「助成金」と「補助金」の違いは何かご存知ですか? 実は「補助金とは何か、助成金とは何か」という厳密な定義はありません。「国や地方公共団体から給付されるお金」と理解しておけばよいと思います。よく「融資と違って返す必要のないお金」と言われますが、その点も共通です。

皆さまの会社で活用という範囲に限定して考える場合、下記ようになります。

- 助成金: 厚生労働省が所管する、事業主向け雇用関係助成金
- 補助金: 中小企業庁が所管する、設備投資、新規事業、販路開拓等を後押しする助成金

補助金・助成金の目的

- 補助金は、産業振興や省エネルギーなど公益目的を行うのに必要な事務・事業を支援するのが目的となります。
- 助成金は、おおむね次の5通りの目的となります。
 - ①人を雇う(雇用を増やす)
 - ②人を育てる(能力開発)
 - ③労働環境、職場環境を改善する(働きやすくする)
 - ④処遇を改善する(給与・賞与等を増やす)
 - ⑤人を定着させる(雇用期間を長くする、離職防止)

設備投資、新規事業を考えているなら補助金。より多くの労働者が、より良い処遇で、より安定して働けるような取り組み(処遇改善や定着)を行った事業主に給付されるのが助成金です。ただ、国・地方公共団体でも厳密な言葉の使い分けをしているわけではないので、分かりづらいというのも否定できないのですが……。

お金の使い道

補助金の場合は、補助金制度の趣旨に沿った事業計画を申請し、採択されたらその計画に沿って設備を導入する等の事業を行います。よく「補助金は使い道が限定されているから使いにくい」と言うことを聞きますが、そうではなく、自分で決めた用途を計画し、その計画通りに使うのが本筋です。

補助対象として認められる「費目」には制限があるので、何でもかんでもというわけにはいかないのも事実です。一番欲しいところでもあるのですが、人件費や家賃など固定費は対象にならない場合がほとんどです。(創業支援を除きます。)

助成金の場合は、教育訓練のための研修費用や、分煙設備の設置費用などの「直接経費」を補助する目的で給付される場合と、制度導入(定年年齢の引き上げ)や賃上げなどの助成の目的に合致する「取り組み」を行ったことに対して給付される場合があります。

お金の扱い(雑収入)

補助金も助成金も、損益計算上、雑収入として営業外収益となります。給付を受けた期の経常利益の増加に貢献することになります。

ただし、営業外の利益が増えるので、これを相殺する営業赤字、営業外損失、特別損失がなく、そのまま決算してしまうと、給付を受けた補助金や助成金がまるまる課税対象となり、法人税等として3割程度を納税することになります。予め決算対策を想定しておくことが必須です。

受給できる事業主

補助金、助成金というと、国や地方公共団体が持つお金のイメージですが、補助金、助成金というのは適切な納税者、適切な雇用保険加入者が納めたものです。ですから、税金の滞納があれば補助金は受けられませんし、雇用保険に適正加入していなければ助成金は受けられません。

基本中の基本は「雇用保険適用事業所の事業主であること」です。未加入の場合は、雇用保険適用事業所となることで対象事業主となります。

受給できない事業主

業種・事業内容を問わず、不正受給、労働保険料未納、労働関係法令違反、暴力、コンプライアンス(法令遵守)や公序良俗に反する企業は受給できません。当たり前と言えば当たり前のことです。

不正受給とは、「偽りその他不正な行為により、本来受けることのできない助成金の支給を受けまたは受けようとする」と指します。例えば、離職理由に虚偽がある場合も不正受給に該当します。離職理由の虚偽とは、「実際は事業主都合での離職であるにもかかわらず自己都合とする」ということです。

労働関係法令違反に関しては、「長時間労働」、「残業代未払い」、「最低賃金のクリア」が重要なチェックポイントになります。

不正受給した事業主、労働関係法令違反事業主は公表されるので、信用を失うことになってしまいます。

J-NET21で補助金・助成金の検索

「厚生労働省、経済産業省のホームページからでは何処を見ていいのか分からない!」。そんな方は、「J-NET21」中小機構の下記URLにアクセスしてみてください。

<http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>

①上記URLにアクセスしていただき、トップページで「支援情報(資金・セミナー)を探す」をクリック。



②「補助金・助成金を検索する」をクリック。



③「補助金・助成金・公募を検索する」タブの「地域・分野を選択する」で、地域、利用目的、支援制度を選択して、「検索」をクリック。

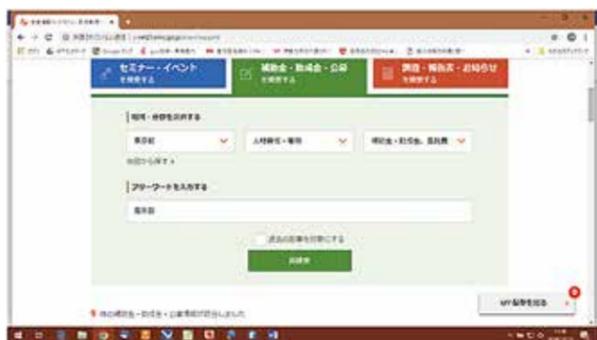


④該当する「補助金・助成金」が確認できます。件数が多くて困る。という場合は「フリーワード」に具体的な内容を入れると絞り込むことができます。(次頁図)

【筆者プロフィール】 メーカー・銀行・生命保険会社を経て、コンサルティング会社にて、人事労務コンサル、ISOやプライバシーマーク、グリーンプリンティング認定等の取得コンサルに携わる。平成24年7月にSME Support(ショートアンドミディアムエンタープライズサポート)を設立。中小企業向けに、ISO(9001、14001、27001)、プライバシーマーク取得、個人情報保護体制構築支援、グリーンプリンティング認定取得などのコンサルティング業務を行っている。



⑥フリーワードに「高齢者」と入力、検索すると9件に絞られました。



これで、厚生労働省、経済産業省、都道府県、中小企業振興公社、金融公庫等の助成金・補助金の検索が一気にできます。

●年金の受給年齢引き上げに伴い、高齢者の雇用推進助成金が注目されることになるとは思われませんが、就業規則を作成し労働基準監督署に届け出ている事業主

の方は、申請すれば、助成金対象事業社となる可能性があります。助成金額だけでなく、支給要件も確認することができます。

下記、厚生労働省のホームページも参考にしてください。
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000139692.html>

●職場環境改善をお考えの事業主の方は、環境改善を行う前に検索してみてください。助成金対象事業であれば、改善事業を行う前に、まず、計画書を提出しましょう。計画書を提出する前に事業を行ってしまうと助成金の対象外となることがあります。

厚生労働省では「受動喫煙防止対策助成金」ということで受動喫煙対策推進を目的とする助成金事業も行っています。下記、厚生労働省のホームページも参考にしてください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049868.html>

×

助成金、補助金を活用する企業が減少しているという報告があがっています。申請書を作るのが面倒、難しくて申請書が作れない。ということを目にしますが、記入例に沿って申請書を作成すれば申請できるものもあります。

高齢者の雇用促進に関しては、政府も力を入れている事業ですので、助成金額、支給要件等の変更が予想されません。国だけではなく地方公共団体で独自に行っている事業もありますので、まずは、どんな助成金、補助金があるのか検索してみましょう。

巻頭企画②

11.9-10 全国協議会を開催 テーブルディスカッションが好評!



ジャグラは全国の地協会長・支部長の会議である全国協議会を11月9～10日の二日間、東京ドームホテル（9日）とLMJ東京研修センター（10日）にて開催。昨年、早坂理事など若手の企画で好評だったテーブルディスカッションを、今回は教育・技術委員会の所管にて開催しました。先月号の写真速報に続いて会議の詳細をご紹介します。

一日目

全国協議会は、中村会長挨拶、配布資料の説明に引き続き、山本副会長が座長になって進行しました。

賛助会員によるミニセミナー

最初に賛助会員による事例発表が行われ、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)（以下FFGS）とリョービMHIグラフィックテクノロジー(株)（以下RMGT）より下記テーマで発表が行われました。

●自動組版活用事例古くて新しい One to One プリント

FFGSからは、「自動組版活用事例古くて新しい One to One プリント」と題して自動組版の事例をご紹介いただきました。

●RMGTにおける取り組み事例のご紹介

RMGTからはIGAS2018での展示内容のほか、オフセット印刷機の自動化によるオペレータへの負担低減等の事例をご紹介いただきました。

(先月号写真速報ご参照ください)

テーブルディスカッション

続いて行われたテーブルディスカッションは、昨年同様、支部長自ら参加したいテーマを選ぶ形で行われました。冒頭、宮崎理事（教育・技術委員長）による進行説明の後、A～Hの8テーブルに分かれて、150分間、熱いディスカッションが行われました。

テーマ：地域活性化補助金事業にトライし、 自社営業に生かす パート2

進行役：(株)みやもと/栃木 宮本誠（敬称略、以下同じ）

内容：昨年のテーブルディスカッションでテーマに取り上げた「宇都宮に伝わる民話を元に武将、藤原秀郷と妖怪、百目鬼（どうめき）をキャラクター開発」。当初50万円規模の補助金でスタートした本事業が、その後も継続的に活動することで、自分達の見識も拡がり「地域コンテンツを創造する」を目標に、大学・行政・議員と協力者が拡がり、新たな展開を迎えています。その経過報告をするとともに、事業を発展させるためにどのようなことへ取り組むべきか、皆さんと一緒に考えました。

まとめ：今回のテーマである地域活性化補助金事業は、テーブルリーダーである宮本氏の会社がオフ輪事業を縮小したことをきっかけに、お金をかけずに自社PRする方法を考えるとところからスタートした。宮本氏は地元宇都宮の歴史コンテンツに着目し、補助金を活用して自社で開発した藤原秀郷と妖怪百目鬼のキャラクターを用いたシールラリーイベントの企画や動画を制作。官公庁や報道機関に紹介されることでキャラクターの知名度が上がり、間接的に自社への発注が増えている。また、キャラクターを用いた地域活性イベントを継続することで地元の大学・行政・博物館とのつ

NEWS 文化典栃木大会の 特設ホームページ開設

栃木の魅力満載のお誘いサイトをぜひご覧ください！
<http://jagratochigi.wixsite.com/yasanichi>

全国協議会で栃木大会への参加を呼び掛ける岡澤運営委員長（左）と宮本実行委員長（右）



Facebookでも情報発信中です
<https://www.facebook.com/jagra.tochigi/>





Aグループは「地域活性化補助金事業にトライし、自社営業に生かす」がテーマ



Bグループは「印刷工場の徹底的効率化」がテーマ



Cグループは「地域の魅力掘り起こしをビジネスに繋げる」がテーマ



Dグループは「ドローン事業による地域活性化」がテーマ



Eグループは「事業承継とPOD」がテーマ



Fグループは「社員のスキルアップ教育の重要性——ジャグラスキルアップ事業の活用」がテーマ



Gグループは「印刷業界で今後も生き残っていくために——M&Aという選択肢」がテーマ



Hグループは「中小印刷業と認証制度」がテーマ

TABLE DISCUSSION

ながりが生まれ、現在は百目鬼物語を日本遺産に登録しようという話も出ている。

歴史コンテンツはインバウンドに人気があるほか、行政にも受け入れられやすい。企画にあたっては、まだ世間に知られていないマイナーなものをチョイスするのが重要。また、自社の利益を優先せず、地域への貢献、周囲を楽しませるという視点が大事である。

Aテーブルは終始ポジティブな雰囲気にも包まれた。日本の各地域にも百目鬼のような歴史コンテンツが存在するため、それを活用して同様の地域活性化事業を展開してみてもどうか？ ジャグラでキャラクター企画開発コンテストを実施してみてもどうか？ 自社でも取り組んでみよう！ と機運が高まった。

テーマ：印刷工場の徹底的効率化

進行役：(株)イナミツ印刷/東京港 稲満信祐

内容：2代目社長に就任後、社内環境改善を目指し、工場レイアウトを大幅に変更。動線をビデオ撮影して分析し、徹底的に無駄を排除することで作業の効率化を実現しました。作業環境改善に向けて具体的にどのような取り組みを行ったかをご紹介しますとともに、皆さんが日頃抱える作業環境づくりの悩みを解決する方法を一緒に考えました。

まとめ：テーブルリーダーの稲満氏が2代目社長に就任してから、工場内業務を徹底的に数値化し、データを分析することにより問題を洗い出し、レイアウトや人員配置、工場間での大幅な設備の移動と配置変更を実施した。その結果、短期間で作業効率をアップさせることに成功した。また、現在も案

件ごとに生産量や作業時間、利益を数値化し、社員に明示してPDCAサイクルを回している。

改善にあたっては、「社員合意」のもと進めることが非常に大切である。また、若手社員をプロジェクトに積極的に抜擢し、社員自らに考え行動してもらうことで社員自身の成長はもとより、会社の成長へとつながっている。

Bテーブルには、M&A後に新しい社風を作りたい、社員の意識を改革したい、事業承継の参考にしたいといった会員が参加した。「社員の幸せを第一に考えている」と語る稲満氏の経営理念に感銘を受けるとともに、できることから徐々に真似していきたいと業務改善への思いを強めた。

テーマ：地域の魅力掘り起こしをビジネスに繋げる

進行役：(有)プロテックス/東京城西 落合信一

内容：新規得意先の開拓に苦心する中、地元である東京世田谷区で始めた「まちプリ」営業。地元に着目して「まちおこし」を始めてみたら「仕事が始まってくる」こんな方法もありました！ 2015年の全国協議会で、この「まちプリ」をテーマに講演させていただきましたが、今回は皆さんと一緒に肩を並べ、地域密着ビジネスについて様々なアイデアをディスカッションしました。

まとめ：テーブルリーダーの落合氏は、地元の東京世田谷をターゲットに地域密着型の営業を展開している。動物病院をターゲットとした戦略では、ペット名刺の「ぼち名刺」を武器に何度も臆せず飛び込み営業をかけた。地域密着ビジネスでは、まずその街のこと、地域住民のことを深く知り、その地域に受け入れられるキャッチーな商材を作ることが重要である。

Cテーブルには地域とのつながり・関わり方に心を寄せる会員が多く参加し、食材をモチーフにした萌えキャラを開発して海外に売り出す、ものづくり補助金を活用した企画、異業種交流会の開催、また、ジャグラ主催で会員各社の強みや営業に使える商材を紹介するビジネスフェアを開催してはどうか？ など、新しい企画・アイデアが次々に生まれた。終了後のアンケートでは、ディスカッションで刺激を受け、元気と勇気もらった、やる気が出てきたとの感想が見られた。

テーマ：ドローン事業による地域活性化

進行役：(株)くまがい印刷/秋田 熊谷健司

内容：昨年の全国協議会で、ドローン業界の現状と活用に関して講演させていただきました。革新的技術「ドローン」の持つ可能性にいち早く注目し、現在はドローン専門のスカイコンテンツ事業部を発足。空撮を始め、日本初の「ドローンVR空中さんぽ」などの新企画や、機体販売、操縦講習も行っています。その取り組みをご紹介しますとともに、ドローンを業務に活かしたい方や興味のある方からのご質問やご意見を伺いました。

まとめ：テーブルリーダーの熊谷氏の会社では、地域活性化事業にドローンを活用している。その内容は、秋田ドローンコミュニティの発足、講習会、ドローンレース開催、花火空撮など多岐に渡る。また、自治体との災害協定を締結し、ドローンを利用した人命救助への協力も行っている。

ドローンは、現在航空法の許可する範囲を守れば、それ以外に特別な免許や資格は必要ない。都心では障害物が多くドローンを飛ばすのが困難であるが、全国的に見ると、ドローン用無料アプリなども提供されており、今後ますますユーザーが増えていくことが予想される。実際、ドローンを利用した撮影で映像関連業務の受注に成功している印刷会社もある。また、9月から郵便局がドローンによる郵便物の配達を開始し、今後物流分野での利用が増えることが見込まれる。

Dテーブルには、ドローン事業に関心の高い会員が集まり、まずはドローンに取り組んでみたいメンバーでグループを作り、SNSを通して情報共有していきたいと、今後の展望を語り合った。

テーマ：事業承継とPOD

進行役：(株)木戸製本所/新宿 入船製本工房 木戸敏雄

内容：1949年製本業として創業、2001年デジタル印刷機を導入しデジタル印刷コンテンツとしての自費出版会社ミューズ・コーポレーション設立。昨年、東京中央区にオンデマンド印刷専用製本工場「入船製本工房」を出店。印刷業にとって大きなテーマである設備投資と事業承継、そしてPODの現状と未来を皆さんと一緒に考えました。

まとめ：テーブルリーダーの木戸氏が経営する木戸製本所は、新潟に本社を置く1949年創業の歴史ある企業である。1993年に事業を引き継ぎ、木戸氏が社長に就任。その後、オンデマンド印刷市場の伸びに着目し、今後は少数の製本受注のニーズがますます高まってくると予想。その受け皿として、東京に拠点を置くオンデマンド印刷専門の製本サービスを立ち上げた。オンデマンド印刷向けの製本は簡易的なものが多い中、長年培ってきた製本技術を活かし、少数のオンデマンド印刷でもハードカバーや無線綴じ製本ができる付加価値の高いサービスを提供している。受注にはインターネットを活用。オンラインで見積りが提示され、金額を了承すると、刷本を回収し、2日程度で製本済みの商品が納品されるようになっている。サービス提供エリアを限定することで短納期を可能としているが、エリア外からの問い合わせにも柔軟に対応している。その他、オンデマンド印刷機によるアルバムやカレンダーなどのフォトギフトサービス事業も開始した。EテーブルはPODに関心のある会員が集まり、次々に新しいビジネスを展開する木戸氏の取り組みに熱心に耳を傾けた。PODは少数の受注に適しているため、Webを活用することでニッチなニーズを掘り起こし、新しいビジネスを試行していききたいとの抱負を語り合った。

テーマ：社員のスキルアップ教育の重要性

——ジャグラスキルアップ事業の活用

進行役：(株)北斗プリント社/京都 谷川聡

内容：私達の仕事領域が大きく変化する現在、社員教育が今後の明暗を分けると言っても過言ではありません。実際に社員のスキルアップ教育に力を入れている会社を参考にし、各社の社員教育の在り方とジャグラスキルアップ事業との関係性を検討しました。

まとめ：テーブルリーダーの谷川氏は、会社が生き残るには、社員教育によって専門性と人間性両面の向上を図ることが不可欠であるとし、その一環として、社員にJAGAT主催「DTPエキスパート認証試験」、NPO法人日本自費出版ネットワーク主催「自費出版アドバイザー」などの資格取得を推

進しているほか、ジャグラ主催「ジャグラコンテスト」にも積極的に参加している。

より多くの会員企業がジャグラ事業を活用した社員教育を行うべきであり、今後はビジネスマナーやコミュニケーション能力向上を目的とした教育も必要である。

Fテーブルには社員教育に積極的に取り組んでいる会員、悩みを抱える会員が集まった。社員教育の問題点として、資格と業務とが結びつかない、職人気質の社員が多く社員教育が進まないなどの意見が出たほか、ジャグラが主催する各種コンテスト、資格・認証制度と自社の業務内容がリンクしないとの意見も上がった。ジャグラへの要望として、今後も社員教育に役立つジャグラBB等のスキルアップ事業を継続するとともに、事業をさらにPRし、会員間での活用と会員増強を推進して欲しいとの意見が出た。

テーマ：印刷業界で今後も生き残っていくために

——M&Aという選択肢

進行役：(株)プリプレス・センター/北海道 藤田靖

内容：2016年の全国協議会に「未来予測の精度を高め、印刷業界で生き残る」というテーマで講演させていただきました。今回はM&Aによりイベント、Web事業など新たな分野を調達し、事業を拡大した経験をもとに、皆さんにM&Aの事例をご紹介しますとともに、印刷業界で今後も生き残っていくための選択肢としてM&Aをどう活用していくか、一緒に考えました。

まとめ：テーブルリーダーの藤田氏は、他社から事業継承、経営譲渡を受け、2017年度はグループ売上高 21億8,170万円 従業員155名までM&Aで業務を拡大した。

M&Aには業務提携、分割、買収など、複数のパターンが存在するが、今回のディスカッションでは、買収をめぐる買う側と売る側の話が中心となった。

買う側としてM&Aを成功させるポイントは、まず買収相手の会社へ通い、社長と友好関係を築くことが重要で、相手の会社の取引先ばかりを見て、相手そのものを見ようとしないと失敗する。一方、事業継承がうまくいかない場合の代案とし

て、M&Aで会社を売ることがひとつの選択肢になっているが、会社を高く売るには、社員のレベルアップが必要不可欠であり、M&A後も買収企業と一体で企業価値を高める努力をすることが売る側の責務である。

また、M&Aは会社存続・従業員の保証・社会貢献の存続を目的として行われるべきであり、売る側買う側双方の意識として、お互いの社風と社員を尊重することが大事であるとした。

Gテーブルには事業承継を検討中の会員、M&A経験談を聞きたい会員が集まり、質疑応答が活発に行われた。参加者からは、M&Aの体験談を通して理解が深まった、M&Aに対する考え方が変わったとの声が上がった。

テーマ：中小印刷業と認証制度

進行役：(株)文化ビジネスサービス/東京港 齋藤秀勝

内容：従業員数10名と少人数ながら、オフセット印刷のグリーンプリンティング認定工場と、プライベートマークを取得しました。その道のりをご紹介するとともに、ジャグラが取得を推奨している各種認証制度のメリットについて考えました。

まとめ：テーブルリーダーの齋藤氏をはじめ、Hテーブルに参加した会員のほとんどがPマークを取得、その他ISO、GPマークなど複数の認証を取得していたため、認証取得の意義と今後の認証制度について活発なディスカッションが進められた。そのなかで認証を返納した会社もあり、認証制度の意義としては、他社との差別化、社員の意識向上、品質向上による信頼、経営者の安心感が挙げられた。しかし返納した理由が、仕組みを理解し、PDCAを回せれば必要性が無くなり、認証を持っていてもその他のメリット無しと考えられた。取得にかかる負担や認証制度を維持するためのコストの割に、営業としての実益が薄いこともある。認証取得による実益を高めるために、入札条件に認証取得を必須とする案件が増えることを望む声も上がった。また認証制度や法整備の優先度は、人の命への影響度によって決まっていると思われる。その点、建築や食品など、人命に直結するものを扱う業界に比べ、印刷は資格がほとんど必要のない業界である。しかし、今後、環境や個人情

報も人命に関わる分野として法整備が進み、より内容が厳格化・細分化されていく可能性がある。そうすると、現在より多くの印刷会社が認証制度の取得を必要とされるだろう。いずれにしろ認証制度を利用して社内整備を強化できたことは事実であり、必要性は今後高まると思われる。

その他、表彰式など

●年賀状デザインコンテスト表彰式

経営基盤強化委員会により、「年賀状デザインコンテスト」の表彰式が行われました。今回は、応募点数761点の中から、下記の方々が最高賞である会長賞を受賞しました。

部 門	社名・氏名/学校名・支部
①カラー部門	(株)ながと印刷/宮崎
②モノクロ部門	(株)五六堂印刷/岩手*
③学生部門	李 榕/学校法人HAL東京

*当日はご欠席のため戸来岩手県支部副支部長が表彰状を受け取りました

●ジャグラコンテスト表彰式

教育・技術委員会により、「ジャグラコンテスト」の表彰式が行われました。第4回目を迎える今回は、InDesignとIllustratorの2種目が実施され、下記の方々がマイスターとして表彰されました。

部 門	氏 名	社名/支部
InDesign	西野 学	(株)サンワ/東京千代田
Illustrator	高山由利子	(株)第一印刷/長野

両氏には表彰状と盾が授与されるとともに、協賛企業であるアドビシステムズ(株)の岩本崇様より、副賞として「オリジナルクッション」と「Adobe CCコンプリートプラン個人ライセンス一年分」が贈られました。

●その他の報告

続いて、ジャグラCSR委員会より、地震や大規模災害など緊急事態が発生した時の対策として「ジャグラ緊急連絡網」を整備した旨、尾形理事より報告がありました。

また、来年6月7～9日に「ホテル東日本宇都宮」にて行われるジャグラ文化典栃木大会準備の進捗状況が、岡澤運営委員長および宮本実行委員長より報告されました。日程は以下の通りで、準備は順調に進んでおり、協賛広告のお願いも併せてありました。

日程	行事	場所・備考
7日(金)	ゴルフ大会	サンヒルズカントリークラブ
	ウェルカムパーティ	ホテル東日本宇都宮
	オプションツアー	大谷石地下空間

8日(土)	マスターズクラブ総会 ホテル東日本宇都宮
	定時総会 同
	式典 同
	講演会 同
	懇親会 同

9日(日) オブショナルツアー 日光
その後、懇親会が行われ、そこでも活発な情報交換が交わされ、親睦を深めました。

二日目

2日目は、会場を東京ドームホテルから LMJ東京研修センターに移して、下記プログラムで進行しました。

感想 | テーブルディスカッションに参加して

～東北地協幹事会議事録より抜粋～

全国協議会から間もない11月22日、東北地協幹事会が開催され、その席上、協議会のパネルディスカッションの感想が報告されたとのことです。同地協より、幹事会議事録が届きましたので、その部分を抜粋してご紹介します。

×

●福島・伊東支部長＝Gテーブルに参加。M&Aの実例等、生々しい討議で勉強になった。新支部長となり、初めての全国協議会参加だったが、「ジャグラとは、こんなに真面目に話をする組合なんだ」と感心した。

●宮城・熊谷支部長＝Hテーブルに参加。認証制度について様々な意見交換、議論がなされ、参考になった。社員の意識向上につながり、社員教育の一環だと認識。

●岩手・戸来副支部長＝Hテーブルに参加。Pマークを東北で最初に取得したが、返還しており、その経緯や理由をありのままに話した。ある意味、議論の盛り上がりを引き出すにはうってつけだったのではないかと自負している。自分も世の流れから推察すれば「認証取得は将来必要になって来る」派ではあるが、現時点では、返還後の運用状態に致命的な問題点は見当たらないし、取得条件・メリットを考慮すると暫くは静観して、今後の展開を注視して行こうと考えている。

●秋田・松原支部長＝Dテーブルに参加。ドローン事業に

M&Aセミナー

- ①特例事業承継税制について
TFS国際税理士法人 山崎泰氏(新宿/ジャグラ元監事)
- ②M&Aを活用した事業承継
フィンテックM&Aソリューション(株) 三橋透氏

テーブルディスカッション総括・地協報告

続いて、熊谷副会長より前日のテーブルディスカッションの総括、各地協の現状報告が行われ、これにて全てのプログラムを終了し、解散となりました。

ついて参考になった。学ぶ事は大事だと感じた。

●山形・後藤支部長＝Aテーブルに参加。著名なキャラクターは題材として飽きられているので、自らコアなご当地キャラを発掘し、展開する事が重要。

●岩手・向井一澄理事＝Cテーブルに参加。新規顧客獲得の方法は、種々あるという事を感じました。大きな街or過疎の村、商業地or住宅街、観光地orごくありふれた小さな街、人口増の街or人口減少の街や村等々、地域の差は確かに存在し、大きなものであり、それが仕事量にも表れている。しかし田舎の小さな街で商売しているからといえども生活していく以上、知恵を出さねばならない。皆様の話を聞いている内に、仕事や営業のキッカケはそれら地域の差はあるものの、案外、身近な所に有るんだという事を思い知らされた。余りにも身近すぎて気が付かなかったのだと。今まで以上に身近な所や普通に思っていた事に目をくばり、アンテナを張り、知恵やアイデアをふりしぼらなければならないと思った。

●秋田・熊谷地協会長＝テーブルディスカッション総評担当として8テーブル全てを見学した感想として、時間の関係で、各テーブル内での討論に終わってしまった事が惜しい程、内容が濃厚で素晴らしいものであった。

お知らせ

11.9 理事会を開催

(株)ショーワ様の寄付金は災害見舞いに役立てることを決定

第54年度第4回理事会が11月9日、東京ドームホテルにて開催され、全国協議会の運営のほか、(株)ショーワ様より寄付金を頂戴した旨の報告がありました。

×

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

省略：本誌巻末スケジュールを参照願います。

《検討の経緯》原案通り満場一致で承認した。

第二号議案 事業の推進体制に関する件

①事業推進体制について、下記委員を追加したい。

◎広報部会：藤尾泰一/外部委員

◎教育・技術委員会：谷川聡/理事

◎年賀状デザインコンテスト部会：吉澤和枝/理事

◎ビジネス推進委員会：伊貝正志/北海道

◎マーケティング部会：池邊寛/大分、園田大造/愛知、加藤貴広/SPACE-21愛青会、黒沢武志/SPACE-21石川、木戸敏雄/東京新宿、萩原直基/長野

②部会名称変更

IoT化推進部会⇒生産性向上部会

《検討の経緯》原案通り満場一致で承認した。

第三号議案 全国協議会の運営に関する件

省略

《検討の経緯》原案通り満場一致で承認した。

第四号議案 第54年度事業報告に関する件

各事業報告を書面にて報告した。(本誌先月号既報)

《検討の経緯》原案通り満場一致で承認した。

第五号議案 (株)ショーワ様の寄付金に関する件

10月12日に賛助会員である(株)ショーワ様の創業90周年式典が開催され、席上、幅ショーワ会長より「今年の災害については十分に見舞いができなかった」と90万円の寄付金贈呈があった旨、中村会長より報告した。沖専務より、今年、地震や台風での被害があったので、近畿地協に10万円、北海道地協に5万円、中国地協に5万円の見舞金を支出したいと提案があった。

《検討の経緯》原案通り満場一致で承認した。

第六号議案 BCP緊急連絡網作成に関する件

BCP部会として、緊急連絡網を策定し、理事・支部長に配布したい旨、提案があった。

《検討の経緯》原案通り満場一致で承認した。

第七号議案 (株)グリッド様の提案に関する件

神奈川県支部の金子徹ジャグラ相談役より電話があり、グループ会社である(株)グリッドより提案があるので、時間をとって欲しいとの要請があった。

●提案内容

弊社は、障害者・高齢者が健常者と共生できる社会の実現を支援することを目的としており、その一貫として生命保険・損害保険を販売している。今回、認知症・介護を保障する保険を販売することになったので、協力して欲しい。「経営者向けのプラン」「従業員向けのプラン」の2商品を販売したい。

《検討の経緯》

パンフレットを出席役員に配布したので、持ち帰って検討してもらい、次回理事会(平成31年1月8日)にて結果を集約することとした。

第八号議案 その他に関する件

その他の提案や報告はなかった。

以上

●出席理事・監事

会 長 中村耀
副 会 長 熊谷正司、岡澤誠、菅野潔、山本耕司、中越忠男
専務理事 沖敬三
常務理事 守田輝夫
理 事 渡辺辰美、向井一澄、宮本誠、尾形文貴、早坂淳、齋藤秀勝、青木滋、吉澤和江、中村盟、吉岡新、笹岡誠、原田大輔、高橋広好、谷川聡、岩下登、宮崎真、本村豪経、松本徹、齋藤隆正

監 事 佐藤順、松永英明

●欠席理事・監事

副 会 長 岡本 泰
理 事 清水隆司
監 事 前沢寿博

※利害関係案件は0件であり、理事の離席はなかった



ジャグラ刊 印刷業界の個人情報保護ガイドブック第6版

～ジャグラ会員へは1部無料で送付予定です～

「個人情報保護法」が平成15年に成立し、昨年5月には大幅に改正され施行されました。同時に個人情報保護委員会から4つのガイドラインが示され、それに伴ってプライバシーマーク付与に係るJIS Q 15001:2017年版も平成29年12月に改定されました。

今回のJIS改正にあたっては、他のISOマネジメント規格文書との統一と改正個人情報保護法の定義に合わせる形で、ビッグデータ（匿名加工情報）の利活用、国外にある第三者への提供への制限、第三者提供におけるトレーサビリティの確保、要配慮個人情報の新設、といった時代のニーズを反映しつつ、個人情報漏洩等の事故事例の教訓も盛り込み、情報セキュリティの強化に対応しています。

JIS改正のポイントは、ISO 27001:2013（情報セキュリティマネジメントシステム：ISMS）の要求事項との近接性が図られ、かつこれまでのJIS Q 15001：2006年版との整合性も取られています。また、プライバシーマーク付与の審査方式も本年8月以降の申請分から変更されています。

ジャグラ・東京グラフィックス個人情報保護委員会では、こうした個人情報保護の動向に沿って、平成30年6月に個人情報保護ガイドライン第3版を改定しました。そして、12月13日に「個人情報保護ガイドブック第6版」を発行しました。第6版は、昨年発行した個人情報保護ガイドブック（第5版）を引き継ぐ形となっており、その内容は、第1章でJIS Q 15001：2017年版改正のポイントとして、規格本文について、また2006年版と関

連した附属書Aの概要等に触れ、第2章ではジャグラガイドライン第3版の全文と、その項番に沿った解説を付けました。また第3章では、印刷業者が注意すべき安全管理措置について日印産連の協力を得て、組織的、人的、物理的、技術的安全管理措置をJIS附属書Cも参照して記載しました。加えて、エピソードとして、最近話題となっているクラウドサービス、標的型攻撃、クレジットカードの取扱い、スマホのセキュリティ、パスワードの変更といった課題も取り上げました。

個人情報の取扱いが顧客・消費者にとって関心が高まっている折、私たち印刷、情報処理・加工を業としている立場で、個人情報保護は正しい取得方法と運用を行うことで必ずや企業活動にプラスとなり、企業イメージを高めることとなりますので、会員企業におかれましては、本ガイドブックを利用されることを望みます。

ジャグラ会員へは1部無料で年内に送付する予定ですが、複数冊必要な場合は1800円（税・送料込）でお頒けしますので、下記書式にてお申込みください。



印刷業界の個人情報保護ガイドブック 第6版 頒価 1800円（税・送料込）

申込書にご記入のうえファクスしてください。請求書同封で本書をお送りしますので、代金を指定口座にお振り込みください。（振込手数料はご負担ください）

申込先 **Fax.03-3661-9006**

社名			所属	
住所	〒			
Tel		Fax		E-mail
氏名				購入冊数

冊

GS
月刊
グラフィックサービス
No.805
2018
12

GS
月刊
グラフィックサービス
No.805
2018
12

月刊
グラフィックサービス
No.805
2018
12

**会費値下げで
一層ご利用しやすくなりました**

5万円/年 → 2万円/年

取引先との
トラブルを、
解決したい！

個人情報保護
の覚書って、
どう書くの？

専任弁護士を
雇う余裕は
無いしなあ...

基本契約書の
内容チェック
どうしよう？

法律相談ネットワーク
「グラフィックス法親会」^{ほうしんかい}のご案内

皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近は経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも50万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持つ」というジャグラ会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。



法親会・会長 添田隆男 (株式会社サンライズ / ジャグラ 18 代会長)

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要

- 専任 今西一男 弁護士
- 会費 20,000 円 / 年 (税別)
※年度途中入会は月割換算 (年度末 12/31)
- 会員特典 ① 無料相談 (随時)
※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応
② 情報交換会 (適時開催)
- 事務代行 (入会申込先・問い合わせ先)
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・事務局
東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒103-0001
電話 03-3667-2271
ファクス 03-3661-9006

入会申込書

申込日 20 年 月 日

fax.03-3661-9006

フリガナ	フリガナ
社名	氏名
住所	〒
Tel	Fax
	E-Mail

引き算のデザイン
ミニマル・グラフィックス・コレクション
グラフィックス社

限界まで無駄を省き、最小限の要素で表現することを「ミニマリズム」といいます。広告の世界では、簡潔でわかりやすく、印象に残りやすいこの手法が多用されています。そんなミニマリズムを体現するデザイン・アイデアを多数収録した書です。

広告業界において、クライアントの意図を簡潔に表し、ダイレクトにユーザーへ届けられる「ミニマル」なデザインは重要な位置を占めています。過度に装飾することを避け、美しく、シンプルに見せようと志向するデザイナーたちが手掛けたプロ

BOOK
| 書 | 籍 | 案 | 内 |



内容はパッケージデザイン中心ですが、最近では街興しの商品開発場面において、ジャグラー会員企業も係わるケースも増えていることから、参考になるとと思います (編集部)

ダクト・デザインをまとめました。世界で活躍するデザイナーの美的センスが垣間見えるデザイン・アイデア集といえるでしょう。

徹底的な分析によって、クライアントの明確な意図を形にし、ターゲットに響かせること。ブランド・ロゴ、パッケージ・デザインなど、

ユーザーの興味をかき立てる、美しく、シンプルなグラフィックス 89 例が収録されています。

- 体 裁：B5 変形、224 頁、カラー
- 定 価：3900 円 (税別)
- その他：ISBN4766131916

Column
遊びどころ溢れるデザインギフトが国内・海外14カ国で好評

e-中小企業ネットマガジンVol.852より転載 (http://www.chusho.meti.go.jp/e_chusho/index.html)

水に濡らすと柔らかくなり、乾燥すれば木より硬い「ファイバー紙」は、主に電気絶縁用に使われる産業用品。加工が難しく用途が限られていた。この紙を使い猫やウサギなど、かわいい動物の形にしたクリップが、OLや女子学生などを中心に人気を呼んでいる。企画・製造するスガイワールド(東京都世田谷区)は、須貝悠代表取締役と海外事業を担当する妻の美由紀さんの2人で運営する小規模事業者。二人三脚の歩みではあるが、国内だけでなく海外14カ国に向け商品を販売する世界企業でもある。

自分だけでは作れないし販売もできない。企画段階から携わる多くの人たちすべてが仲間なのだから、それが企業規模だと考えていると須貝氏は語る。世界で通用するアイデアは企業規模とは無関係。むしろ、湧き出るアイデアを製品化し販売する過程で携わる多くの人たちと、ベクトルが同じならば企業規模は百倍、千倍に拡大することになる。社名につくワールドは「宇宙船“地球号”の乗組員」を表現しており、その意味は、世界中の人々が仲間だという考え方だ。

現在の商品アイテムは、ユニークな怪物やかわいい動物の形をした紙クリップ、眼鏡やひげの形で変装もできるしおり、吹き出しの形をしたノートなど約20種類。どれも須貝氏が企画した商品。これらの遊びどころ溢れる商品が、殺風景なオフィスで仕事をするOLたちの机を飾る。実用的で思

わず頬が緩むデザインが、心を和ませ幸せな気持ちへと導く。「ほんのひと時でも安らぎを感じてもらえる商品を作り出したい」というのが起業の原点だったと須貝氏は話す。

美術大学を卒業後、デザインコンサルティング会社、メーカー商品部に勤務。営業が主な業務だが、夢を形にする企画書づくりに没頭。2011年からスガイワールドの活動を開始し14年5月に法人化した。最初の作品は通常の紙を使用したカイゼルヒゲのような付箋。住まい兼事務所のスペースは商品の入ったダンボール箱に埋め尽くされ、途方にくれた時期もあった。「人が考えない商品づくりに情熱を持つが、売り方は知らなかった。支援機関を回りアドバイスを受け出品した展示会で、大手雑貨販売会社の目にとまり完売した」と当時を振り返る。

15年に発売した動物の形をした「クリップファミリー」は、ファイバー紙の加工ができる工場に生産委託してできた。5枚のクリップが入ったセットで税別480円。国内外で年間7万セットを販売するヒット商品になった。海外では中国で人気が高いが「いまだに模倣品が出回らない。優れた技術が隠されている」という。企画案は無限。次々に商品化し世の中を遊びどころで満たしていくのが目標。海外販売数は16%だが、これを国内、海外と同数にする。そのため積極的に展示会へ出品し商品の浸透を図る考えだ。

GS
月刊
グラフィックサービス
No.805
2018
12

GS
月刊
グラフィックサービス
No.805
2018
12

オペレーターのスキルアップのために

ジャグラコンテスト 第1次審査課題解説⑤

InDesign問題3：名刺の制作【最終回】

DTPオペレーターの技能を競う「ジャグラコンテスト第4回 InDesign」の第1次審査課題について、課題内容と審査の要点を連載でお届けします。本連載は今月で最終回となります。

課題内容

「問題3：名刺の制作」は、クライアントから支給されたExcelファイルを使用して、46名分の名刺をInDesignのデータ結合機能を用いて作成する問題です。



▲図1 「問題3：名刺の制作」の完成例

出題の意図

名刺を代表とする「決まったフォーマットにテキストや写真を配置する仕事」は、InDesignのデータ結合機能を使用すると効率的です。しかし、データ結合を実務で使用したことがない方が多くいらっしゃるということで、この課題を通してデータ結合の便利さを体感していただくことにしました。また、技能コンテストらしく、データ結合後の手作業をどれだけ減らす工夫ができるかも考えていただきました。

課題のポイントと必須技能

①サロゲートペア文字の文字化け

初めて名刺をデータ結合で作成する際にぶつかる問題が、サロゲートペア文字の文字化けでしょう。サロゲートペア文字とは、Unicodeにおいて通常1文字を2バイト

で表現するところを、1文字4バイトで表現する特殊文字のことです。

この課題では「吉（土吉）」が文字化けします（図2）。行頭文字なので発見は容易ですが、もし長い文章中であれば気づきにくいでしょう。そこで、ソースファイルをデータ結合前にコピー＆ペーストで別のInDesignファイルに配置し、正規表現で「[\x{010000}-\x{10FFFF}]」を検索し、サロゲートペア文字の有無をチェックします。



▲図2 サロゲートペア文字の例：「吉」

② JIS90 字形と JIS2004 字形による漢字の違い

人名を扱う仕事において、漢字の字形は最も重要です。名刺は漢字を誤れば刷り直しは免れないでしょう。この課題ではあえて明記しませんでした。支給データはWindows 7のExcel 2016で作成され、クライアントは「辻」が二点しんじょうという認識です。

Windows VistaからJIS2004字形のフォントが標準となり、2014年にWindows XPのサポートが終了となったことで、一般的なクライアントの環境はJIS2004字形と想定されます。支給データ通りに作成する前提であれば、支給データの詳細が不明な場合は、JIS2004字形にすると無難です。

この課題ではJIS90字形の「小塚ゴシック Pro」ではなく、JIS2004字形「小塚ゴシック Pr6N」を使用し、「辻」

とすれば正解です（「小塚ゴシック Pro」でも字形を変更し「辻」としていれば正解）。また、一点しんじょう「辻」となっている場合、コンセプトシートでクライアントに漢字の字形を確認するよう申し送りがあれば、正解としています。

実際の仕事においては、データ通り作ればクライアントが満足するわけではありません。クライアントに字形の違いによるリスクを理解していただき、クライアントの制作環境を確認したり、名刺を使用する本人にチェックしてもらえよう、コミュニケーションをとることが何より大切です。

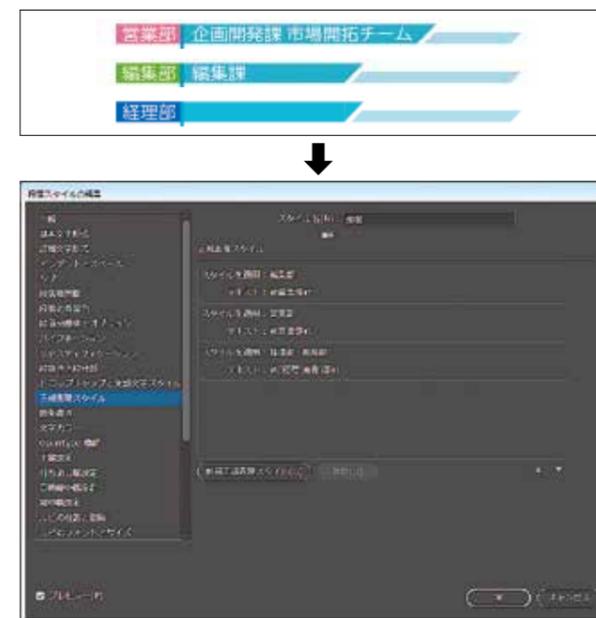


▲図3 字形の違いの例：「辻（二点しんじょう）」

この課題で一番の難所は？

営業部／編集部／経理部の色の変更

部署によって色を変更させる方法は多数ありますが、模範データでは下線と正規表現を用いています。<タブ>部署名<タブ>と作り、これに下線で色をつけています。この下線の色を正規表現でコントロールしています。



▲図4 正規表現スタイルの設定例

名刺の仕事では、赤字での修正指示ではなく、Excelデータが再支給されるケースが多々あります。再作業のリスクを考えた場合、どれだけデータ結合のみで作業を終えられるかは非常に重要です。従って、この課題では手作業を極力少なくしている方が高い点数を得られるようにしました。

課題出題者からのメッセージ

自動組版といえばスクリプトのイメージがありますが、スクリプトが書けなくても、データ結合を使用すれば自動組版に近いことができますので、是非覚えてください。また、スクリプトで作業するとしても、InDesignの機能を最大限活用して効率的なテンプレートが作成できれば、スクリプトの開発労力を抑えられますし、修正に強いデータを作成することができます。

この課題を通して得た知識が、皆さんの業務効率化につながれば非常に嬉しく思います。

●ジャグラコンテスト受験者の皆様へのお詫び

問題内容を実際の仕事に近づけるため、クライアント支給データをExcel（.xlsx）とさせていただきますが、Microsoft Officeをお持ちでない方への配慮が足りませんでした。申し訳ありませんでした。

図版付き解説と模範データは特設サイトで！

ジャグラコンテスト特設サイトでは、第1次審査課題の解説文全文を図版付きで公開中です。コンテスト未受験の方もご覧いただけますので、ぜひスキルアップにご活用ください。

また、受験者の方は、第1次審査課題資料に記載されたダウンロードID・パスワードを入力することにより、「ダウンロード」ページから課題の模範データをダウンロードいただけます。

▼ジャグラコンテスト第4回特設サイト

<http://www.jagra-contest.com/>

シリーズ 需要創出を考える⑫

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラー会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探る本シリーズ。第12回目は今年のジャグラー作品展受賞企業の中から、大阪府支部・(株)イデアルさんの事例をご紹介します。

事例13 作品展/全国中小企業団体中央会会長賞受賞

『子どものお絵かきをアートに♪』

得意なことが活かして、楽しめる企画を

弊社は大阪市福島区にある印刷・制作会社です。20年来的DTP・デザインレイアウト編集力が強みの制作部は、3チームに分かれた計11名のスタッフが在籍しています。

お客様のご要望に合わせて、各分野を得意とするスタッフが担当し、ご希望に沿った印刷物を確実・丁寧に仕上げることに自信を持っています。

昨年、主力のモノクロ冊子や社内報制作などに加え、社内での教育も兼ねて「新しい商品を企画してはどうか」という話が持ち上がり、制作部だけではなく、営業部とも協力して、商品企画チームを立ち上げることになりました。

初めて新商品を企画するにあたり、まずは自分たちが「あったらいいな」と思う印刷物や、サービスなどのアイデア出しを自由に行いました。複数回のミーティングを経て「名刺を持たない人の名刺」や、フェアトレードの紙を使った「オリジナル包装紙」など、さまざまな案が出揃いました。

その中から、得意なこと（フルカラーオンデマンド出力・デザイン）を活かせるものに絞ったところ、ちょうど5歳のお子さんの絵の保存方法に困っていたメンバーの1人から「子どものお絵かきをアートに」というアイデアが生まれ、全員が楽しんで取り組むことができるという理由から企画内容が決定しました。

手探りの商品企画 ～良い商品を気軽に～

新商品「子どものお絵かきをアートに♪」のコンセプトは、日々成長する子どもたちが、その瞬間にしか描けない楽しい「お絵かき」を「気軽に、安心して、おしゃれに残せる」です。

企画内容は決まったものの、ほとんどのメンバーは商品企画に携わったことがなく、販売までの手順は手探りの中で、まず難しいと感じたことは「価格設定」です。

(株)イデアル「ひよこアート部」(大阪府支部)

制作部は、普段の仕事の中で「価格」について深く考える機会はほとんどありませんでした。その中で、良い商品ができるだけ気軽に注文していただける価格設定にしつつ、利益を上げていくためにはどうすればいいのかといった課題に、営業部との意見交換やレクチャーを受けながら「価格設定」の難しさや、利益を上げるために工夫することの大切さを痛感しました。

3つのこだわり「気軽に 安心して おしゃれに」

新商品のコンセプトである3つのこだわりは、販売方法や商品の種類を決定していく上で、重要なポイントになりました。

①気軽に購入

オリジナルやハンドメイドの作品が好きな小さい子どものいるご家族（主にお母さん）をターゲットとして、家事などの合間にスマホで気軽に注文ができる通販サイトの「ハンドメイド・手作り・クラフト作品のマーケット minne（ミンネ）」で販売することになりました。



通販サイト「ハンドメイド・手作り・クラフト作品のマーケットminne」
<https://minne.com/>のトップページから「ひよこアート部」で検索してください



- ①ひよこアート部メンバーと作品
- ②ベレー帽をかぶった「ひよこ」ロゴ
- ③原画をもとにアートを試作して最適な用紙を選びました
- ④ラッピングに使うシールは、社内のカッティングマシンで様々な形に

商品ラインナップはシンプルに、額付きか木製パネルに絞り、アートの色も指定しやすいよう「ビビッド」「パステル」「アースカラー」の3種類に限定しました。

また、原画となる「お絵かき」写真は、誰でも簡単にスマホで撮影できるようポイントを解説した「原画撮影のコツ」ページをサイト内に設けました。

②安心の品質

印刷会社で制作していることを前面に出すことで、仕上がりの品質保証や問い合わせへの迅速な対応など、安心してお任せいただけることをアピールしました。

また、仕上がりのこだわりとして、アートに合った紙の質感が選べるよう、サンプル用紙を取り寄せ、試作を繰り返し、風合いが異なる2種類を選べるようにしました。光沢のある質感のコート紙は「ビビッド」に、布のような質感で、少しかすれたレトロな風合いになる布紙は「パステル」や「アースカラー」におすすめするなど、初めてのご注文でも、最適な組み合わせになるようご提案しました。

③おしゃれに飾る・贈る

おしゃれに飾ることはもちろん、オプションで選んでいただけるラッピングについてもこだわりました。実際に資材量販店にメンバー数名で何度も足を運び、リボンや包装紙の質感や色を見比べながら、贈られた人が嬉しくなり、ずっと残しておきたいラッピングを心がけました。

少しずつでも、誰かの宝物になるアート作品を

初めて商品を企画する自分たちをイメージして名付けたチーム名「ひよこアート部」。部活のようにワイワイと楽しみながらクリエイティブな活動ができればという思いでスタートし、何とか商品をカタチにすることができました。

ベレー帽をかぶった「ひよこ」のロゴは、ラッピングのシールやメッセージカードなどにも登場し、メンバーも少しずつ愛着が湧いてきています。

今回、初めての取り組みにも関わらず、ジャグラー作品展において「全国中小企業団体中央会会長賞」をいただくことができたのは、今後の活動への励みになりました。

今後はアート制作過程を動画などで撮影・紹介するページの追加や、セールスプロモーションの一貫として、商品をたくさんの人に知っていただくためにSNSの活用、クリスマスなど行事に合わせた企画なども実施したいと思います。

また、イデアルの会社周辺には子育て世代も多く、梅田にも近い活気のある街なので、地域のイベントなどにも参加できるような活動につながれば「ひよこアート部」としてさらに面白い展開になるかもしれません。

そのためにまずは少しずつ、誰かの宝物になるアート作品をつくっていきたいと思います。

(文：ひよこアート部)

ジャグラ

サンライズ出版(株)が 京都新聞大賞/文化学術賞を受賞

同賞は京都新聞社が、文化学術・教育社会・スポーツ・福祉の各分野において優れた業績をあげた人たちの栄誉をたたえて贈られるもの。今年も8氏5団体に贈られ、サンライズ印刷さんは文化学術分野での受賞です。

湖国の歴史、文化に光

サンライズ出版株式会社

滋賀の歴史や文化の優れた研究を世に出し、自費出版を含めて1600冊以上に上る。1994年に創刊し、郷土史に特化した「淡海文庫」シリーズでは「近江商人入門」「ふなずしの歴史」などの書籍が高い評価を受けている。

1930(昭和5)年の創業時は行政の資料印刷を請け負っていたが、編集部門を強化して企業や商議所の会報を手がけるようになり、郷土研究の支援へと事業を発展させてきた。

近年は滋賀大や県立大と協定を結び、研究に光を当てる。琵琶湖博物館の書籍発行にも注力。岩根順子代表は「ネットに長く残る情報は少ない。紙の本で時代を記録することが必要」と話す。

(彦根市)

同社の受賞を伝える京都新聞 11月26日紙面

同紙記事によると同社は、“滋賀の歴史や文化の優れた研究を世に出し、自費出版を含めて1600冊以上に上る。…郷土史に特化した「淡海文庫」シリーズでは「近江商人入門」「ふなずしの歴史」などの書籍が高い評価を受けている”ことが評価されたもの。岩根順子社長は、“ネットに長く残る情報は少ない。紙の本で時代を記録することが必要”と話す。



京都新聞11月26日の紹介記事



雑誌『男の隠れ家 (三栄書房刊)』でも同社の出版物が紹介されました

ジャグラ

11.22 東北地協幹事を開催 於 ハーネル仙台 (仙台市)

去る11月22日、仙台市において東北地協幹事が行われました。

×

幹事会では、全国協議会の報告がされたほか、地協総会秋田大会のプランについて検討され、「簡素化して参加費を引き下げ、より多数の会員が参加できるよう配慮する」「簡素化により、開催県の負担軽減を図る」旨の意見・提案がありました。

また、全国協議会でのパネルディスカッションの感想も各々から披露され、「有意義であった」と好評だったとのこと(詳細10ページ参照)。

今回の東北地協幹事会は予定の2時間をオーバーする程、活発な意見が交わされたとのことですが、その要因として、

- ①財政・活動・運営等について本音を話せる、お互いのそして各県支部の信頼関係が築かれつつある事
- ②ある意見が出され、それと違う意見が出されても、それらは共にこの地協、はたまた我々印刷業をもっと良くしていこうという建設的な思いからなので、恥ずかしがらず色々な意見が出される事は望ましい。そのような環境作り、信頼作りの努力は今後もするべきであるということでした。

(情報提供：向井理事)



東北地協幹事会の模様

日印産連

第18回印刷産業環境優良工場表彰 第一次審査募集中 (~2019.2.8)

ジャグラなど印刷関連10団体で組織する、一般社団法人日本印刷産業連合会(日印産連)主催の、第18回印刷産業環境優良工場表彰の第一次審査が応募受付中です。

×

日印産連では、印刷産業界における各企業の環境問題に対する取り組みを促進するとともに、印刷工場環境改善及び印刷企業に対する社会の一層の支持・理解を獲得することを目的に、2002年度から印刷産業環境優良工場の表彰制度を実施しています。

2019年度の第18回環境表彰は、前回同様に第1次審査と第2次審査に分けて行い、その第一次応募が来年2月8日を締切として受付中です。

環境対応は今や、「印刷品質の一部」とも言われています。本表彰については、従業員数が29人以下(かつ企業全体従業員数49人以下)の事業所を対象に表彰する「小規模事業所部門」も設けていますので、ジャグラ会員企業におかれましても、積極的にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか! 詳細は下記サイトご参照ください。

<https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=4106>

第18回 印刷産業環境優良工場表彰応募要領

—自社工場の環境配慮度を客観的に評価する絶好の機会です。—
受賞工場は環境優良モデル工場として業界内外にアピールできます。

2019年度

- 1 応募資格**
 - ・1-1: 印刷産業連合会から登録番号が与えられた工場
 - ・1-2: 2019年12月31日現在、印刷工場として稼働している工場
 - ・1-3: 従業員数が29人以下(かつ企業全体従業員数49人以下)の事業所
 - ・1-4: 2019年12月31日現在、印刷工場として稼働している工場
- 2 応募の手続き**
 - ・応募する工場は、環境配慮度を客観的に評価する機会です。
 - ・応募は、環境配慮度を客観的に評価する機会です。
 - ・応募は、環境配慮度を客観的に評価する機会です。
- 3 応募期間**
 - 第1次審査: 2019年12月31日
 - 第2次審査: 2019年2月25日(金)～4月19日(金)
- 4 表彰の種類**
 - 経済産業省 環境情報政策局長賞
 - 経済産業省 環境情報政策局長賞
 - 経済産業省 環境情報政策局長賞
- 5 審査方法及び審査基準**
 - ・審査方法は、環境配慮度を客観的に評価する機会です。
 - ・審査方法は、環境配慮度を客観的に評価する機会です。
- 6 表彰式**
 - 日時: 2019年12月(予定)
 - 会場: 東京都千代田区千代田(予定)
- 7 問合せ先**
 - ・日印産連 事務局
 - 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 - TEL: 03-3553-6051
 - Fax: 03-3553-6079
 - mail: info.dm@jfpi.or.jp

主催: 一般社団法人 日本印刷産業連合会

印刷工業会
全日本印刷工業連合会
日本フォーム印刷工業連合会
一社日本グラフィックサービス工業会
全日本製本工業連合会
日本グラフィックエンジニアリング工業連合会
全日本印刷技術協会
全日本印刷技術協会
全日本印刷技術協会
全日本印刷技術協会

第17回受賞工場 (2018年度)

経済産業省 環境情報政策局長賞
経済産業省 環境情報政策局長賞
経済産業省 環境情報政策局長賞

一社印刷工業会
一社印刷工業会
一社印刷工業会
一社印刷工業会

ご案内リーフレットを本号に同封しましたのでご一読ください

月刊「グラフィックサービス」805号

■発行日 平成30年12月10日(毎月1回)
 ■発行人 中村 耀
 ■編集人 早坂 淳
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 TEL 03-3667-2271
 FAX 03-3661-9006
 WEB <https://www.jagra.or.jp/>

ジャグラは一般社団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

編集部 メール edit@jagra.or.jp

原稿 / 編集 / 校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
 斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)
 藤尾 泰一 (㈱インフォ・ディー / 広報委員)
 日経印刷(株) (校正のみ)

組版 / デザイン (㈱インフォ・ディー)

組版 = Adobe CS6/CC
 フォント = モリサワ OTF (ほか)

印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 CTP = 富士フィルム XP-1310R
 刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 インキ = DIC
 用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
 ※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場にて生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2018 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。
 また、原則TM・®マークは省略しています。
 ※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします。



事務局日誌と今後のスケジュール

2018年11月 事務局日誌

- 1日 プライバシーマーク現地審査(岩手)、東京ドームホテル打合せ、東グラ理事会→守田常務
- 2日 ジャグラコンテスト主催 InDesign セミナー(大阪)
- 5日 プライバシーマーク現地審査(長野)、㈱グリッド様来局
- 6日 プライバシーマーク現地審査(長野)
- 7日 日印産連「印刷と私」表彰式、日印産連・GP 認定制度式典(経団連会館)
- 8日 M&A 部会、日印機協総会(如水会館)→中村会長・沖専務・守田常務
- 9日 理事会、全国協議会
- 10日 全国協議会、総務委員会
- 13日 4団体トップ懇談会
- 14日 プライバシーマーク現地審査(千葉)
- 16日 ビジネス推進委員会
- 19日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 20日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 21日 経済産業省ヒアリング→守田常務
- 22日 近畿地協総会(奈良ホテル)、環境部会インタビュー(㈱文伸様)、広報部会、ドキュメントサービス協組連合会通常総会懇親会→欠席
- 26日 経営基盤強化委員会、広報新年号対談=中村会長&斎藤閣東複写センター協同組合理事長
- 27日 個人情報保護ワーキンググループ
- 28日 ビジネス推進委員会打合せ、プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 29日 プライバシーマーク現地審査(京都)、プライバシーマーク現地審査(都内)、経済産業省ヒアリング→守田常務

2018年12月の予定(12.10時点)

- 1日 大分県支部セミナー
- 5日 プライバシーマーク審査会
- 8日 山梨県支部・東京・三多摩支部合同講演会→中村会長
- 11日 ジャグラ文化典高知大会実行委員会(高知)→守田常務ほか
- 12日 日印産連ステアリングコミッティ→中村会長
- 13日 日印産連専務理事連絡会議→沖専務、プライバシーマーク現地審査(神奈川)
- 17日 教育・技術委員会、ジャグラBB部会、POD部会、ジャグラコンテスト部会
- 26日 プライバシーマーク現地審査(愛媛)
- 28日 仕事納め

2019年1月の予定(12.10時点)

- 7日 仕事始め、福岡県支部新年交歓会→祝電
- 8日 ジャグラ・東京グラフィックス新年挨拶→中村会長・菅野副会長、委員長会議、理事会、日印産連新年交歓会
- 9日 大阪府支部新年会→祝電
- 15日 プライバシーマーク現地審査(広島)
- 17日 日印機工年始会→中村会長・沖専務、広報部会、東印工組新年会→中村会長
- 18日 愛知県支部新年集會→中村会長、千葉県支部新年会、岩手県支部・印刷工組合同新年会→沖専務
- 21日 東グラ新春賀詞交歓会→中村会長、沖専務
- 22日 関東複写センター協同組合新年賀詞交歓会→中村会長・沖専務
- 24日 日印機協新年互礼会→中村会長・守田常務・並木事務局長
- 28日 ジャグラ・東京グラフィックス共催個人情報保護セミナー(日本印刷会館)

最新スケジュールは公式HPで!

ジャグラ関係の会議などのイベント日程の最新情報は、公式ホームページにてご案内しています(<https://www.jagra.or.jp/events/>)。Google カレンダーと連動していますので、ご自身のスマホに日程を取り込むことができ大変便利です。ぜひご利用ください。

編集後記

年末を迎え、紙の値上げ通知が飛び込んできた。一部では11月初旬より話が出ていたので、紙の値上げを知りながら本部が何もしないのはけしからんとのおしかりを受けた。だからということでもないが、ジャグラも印刷業界も基本的には紙だけではなく、資材の値上げ・コストの増加には反対であり、ジャグラなど印刷業界10団体で構成する日印産連名で製紙業界に反対の書面を提出している。ただ一方では、値上げは阻止できないのではという声もあり、逆に値上げを転嫁しやすくないかという方向も考えている。どちらにいくにしても組織の力がまだまだ必要である。(T.M)

2018年12月号

ジャグラBB HOT NEWS



「仕事に役立つAdobe CCシリーズ」配信開始!

DTP&Webクリエイター、講師、テクニカルライターとして幅広く活躍中の鷹野雅弘氏が手掛ける待望のトレーニング番組「仕事に役立つAdobe CC～知らないと損をする○○の仕事術」シリーズの配信がスタートしました。DTP三種の神器であるIllustrator, Photoshop, InDesignについて、DTPオペレーターのかゆいところに手が届く制作時短テクニックをギュッと詰め込んでお送りします。ぜひご覧ください!



仕事に役立つAdobe CC シリーズ ▶最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



知らないと損をする Photoshopの仕事術(No.1~3)

- ①カラーテーマの変更と角度補正
 - ②キャンバスの拡張と画像の切り抜き
 - ③シャドウ・ハイライトとスマートオブジェクト
- 時間:①11分53秒 ②12分7秒 ③10分57秒
 会員限定番組



知らないと損をする Illustratorの仕事術(No.1~3)

- ①サンプルテキストとフォントの選択
 - ②複合シェイプ、文字タッチツール
 - ③ライブシェイプとグローバルカラー
- 時間:①9分11秒 ②11分12秒 ③8分11秒
 会員限定番組



知らないと損をする InDesignの仕事術(No.1~2)

- ①次のスタイルと自動番号
 - ②データ結合(変数)
- 時間:①8分14秒 ②10分59秒
 会員限定番組

ワザコレ! 動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」シリーズで配信する投稿映像を募集しています。みなさんの会社のノウハウを動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。ふるってご応募くださいませ。

ワザコレ! 動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
 応募先メールアドレス: jagrabb@jagra.or.jp

スマホで撮影した動画も受け付けます!

ジャグラBB 新規ID登録ページURL

https://www.jagrabb.net/app_mail.php

月刊
グラフィックサービス
No.805
2018
12